

2025年度第2学期山梨学習センターゼミ

講師名	開催 予定日	テーマ	ゼミ概要
詳細		ゼミの進め方	受講生へのメッセージ及び用意するもの
村松 俊夫 (センター所長)	① 10月8日	視覚トリック鑑賞会 ー錯視芸術の世界ー	「百聞は一見に如かず」という有名なことわざがあります。「他人からあれこれ百回聞くよりも実際に自分の眼で一目見た方が確実だ」といった意味です。本当にそれほど「眼で見る(視覚)」という行為は信用できるものでしょうか？その視覚の“不確かさ”を見ていきましょう。
	② 11月12日		
	③ 12月10日		
	④ 1月14日		
	⑤ 2月18日 (第3)		
	⑥ 3月4日 (第1)		
大山 拓次 (山梨大学教授)	① 10月22日	タンパク質構造入門	固有の機能を発揮することで、私達はどうやく健康に生きることが出来ます。タンパク質は原子レベルで設計された構造を持っています。構造に基づく機能の仕組みを知らば、生命に対する考え方が今までとは大きく変わるかもしれません。
	② 11月26日		
	③ 12月24日		
	④ 1月28日		
	⑤ 2月18日 (第3)		
	⑥ 3月25日		
岡松 恵 (山梨大学准教授)	① 10月9日	文様に惹かれて	身の回りに残る昔の文様を、文化史研究の手法を用いて調べてみましょう。由来や表現など、様々な角度からじっくり調べてみることで、その文様の持つおもしろさや魅力に改めて気づかされることでしょう。また昔の日本人の美意識や心情に触れることができるかもしれません。
	② 11月13日		
	③ 12月11日		
	④ 1月8日		
	⑤ 2月12日		
	⑥ 3月10日 (第2火曜日)		
尾形 大 (山梨大学准教授)	① 10月1日 (第1)	近代の短編小説を読む	「小説の面白さ」とは何でしょう？奇想天外なストーリーや魅力的な登場人物といった点だけが小説の「面白さ」ではありません。小説はどのように読むことができるのか、その方法や視点を学ぶことをとおして、さまざまな小説の奥行きと広がりを実感することを目的とします。
	② 11月12日		
	③ 12月10日		
	④ 1月14日		
	⑤ 2月4日 (第1)		
	⑥ 3月26日 (第4木曜日)		
菊地 淑人 (山梨大学准教授)	① 10月21日	地域の歴史文化と観光／まちづくり	身近なところにも様々な文化資源(歴史的建造物、遺跡、博物館・美術館に所蔵された美術工芸品など)があります。その価値や魅力は何なのでしょう。また、観光やまちづくりにどのように役立つのでしょうか。事例を考えながら、くらしのなかの歴史文化の役割を考えましょう。
	② 11月18日		
	③ 12月16日		
	④ 1月13日 (第2)		
	⑤ 2月17日		
	⑥ 3月24日 (第4)		
田中健史朗 (山梨大学准教授)	① 10月22日 (第4)	人の「こころ」(心理)について考える	人の「こころ」に関心をもち、その心理を掘り下げ、本質的な問題や課題が何であるのかについて理解することを目指します。また、支援者として支援する方法を獲得することを目指します。
	② 11月26日 (第4)		
	③ 12月17日 (第3)		
	④ 1月21日 (第3)		
	⑤ 2月18日 (第3)		
	⑥ 3月18日 (第3)		
鳥山 孝司 (山梨大学准教授)	① 10月16日	走るを科学する	速く、長く走れる走り方は？怪我をしない走り方は？運動力学、生理学などの観点からこれらについて考えていきます。単純な運動ですが、奥深さに触れてみませんか？
	② 11月20日		
	③ 12月18日		
	④ 1月15日		
	⑤ 2月19日		
	⑥ 3月26日 (第4)		